

第2章 計画の基本的な考え方

1 基本理念

「豊かなスポーツライフの実現」

2 本県の目指すべき目標

この計画では、子どもから高齢者まで誰もがスポーツに親しむとともに、全国大会などで活躍する選手やスポーツ活動を支える人財⑥を多く輩出し、さらに、こうした人財が活躍し、県内外から人が集まる交流拠点となることで地域が活性化していくといった元気で活力に満ちた青森県を目指していきます。

このことは、本県が目指す「スポーツが盛んな青森県」につながるものです。

3 取組方針

本県では、スポーツの意義及びその文化としての価値を踏まえ、5つの事項を柱として、スポーツの推進に取り組みます。

(1) ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

県民の誰もが、それぞれの体力や年齢、興味・目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでも安全にスポーツに親しむことは、生涯をより豊かに過ごしていくためにとっても大切なことです。このためには、それぞれの興味・関心・適性等に応じて日常のかつ自発的にスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、スポーツを支え、スポーツを育てる活動に参画できる環境の整備が必要となります。

また、学校や総合型地域スポーツクラブ⑦、スポーツ少年団、競技団体、スポーツ・レクリエーション活動団体、福祉関係団体等が連携して、多様なスポーツ活動を効率的・効果的に推進することが期待されています。

さらに、今後は、大学等の関係団体との連携や協働によるスポーツボランティア参画人口の拡大や機会の創出に向けた取組も必要となります。

- ① 若者のスポーツ活動の推進
- ② 働き盛り、子育て世代のスポーツ活動の推進
- ③ 高齢者のスポーツ活動の推進
- ④ 障害者のスポーツ活動の振興

(2) 学校や地域における子どものスポーツ機会の充実

子どもにとってスポーツは、生涯にわたってたくましく生きるための健康や体力の基礎を培うとともに、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培うなど人間形成に重要な役割を果たすものです。しかし、近年、積極的にスポーツをする子どもとそうでない子どもの二極化が顕著に認められることから、運動習慣が身に付いていない子どもに対する支援は大きな課題となっています。

スポーツの持つ意義を踏まえると、子どもが積極的にスポーツに取り組む態度を育成

することは重要であり、幼児期からの体力づくりや学校体育の充実を図るための取組を通して、子どもたちにスポーツの魅力やスポーツマンシップ、優れた技能、健康と体力づくり等を指導できる指導者の育成と資質向上に努めることが必要となります。

また、スポーツ活動・運動部活動への参加機会の拡充を図るため、学校と地域が連携し、適切なスポーツ活動・運動部活動の在り方について検討することも必要です。

さらに、各学校が地域の特性を考慮し、小・中・高等学校が連携した体育学習や学校と地域が連携・融合する協働事業等を推進することが必要です。

- ① 幼児期からの子どもの体力向上方策の推進
- ② 学校の体育活動の充実
- ③ 子どもを取り巻く地域のスポーツ環境の充実

(3) 地域のスポーツ環境の整備・充実

県民が主体的に参画する地域のスポーツ環境を整備することは、生涯を通じた住民のスポーツ参画の基盤となるものであり、地域社会の活性化に重要な意義を有するものです。このことから、地域における総合型地域スポーツクラブがその特徴を発揮して、地域スポーツの担い手としての重要な役割を果たしていけるよう、さらなる育成とその活動の充実を図ることが重要となります。また、大学においては、その担い手を育成するため、地方公共団体や企業等との連携・協働により、スポーツを通じた地域貢献活動を実施することが期待されます。

さらに、トップスポーツと地域におけるスポーツの人財の好循環を創出するためには、地域におけるスポーツ活動の中から潜在的な能力のある次世代のアスリートを戦略的に発掘・育成する体制を整備することが重要です。将来的には育成されたアスリートが、総合型地域スポーツクラブ等において地域の優れたスポーツ指導者となり、自身が有する技能や経験、人間的な魅力をジュニア層の育成や地域貢献等に還元し、合わせて自らの指導者としてのスキルアップを図るという流れを作り出すことが必要です。

- ① 総合型地域スポーツクラブの育成・推進
- ② 地域のスポーツ活動を支える人財の育成・活用
- ③ 地域スポーツ施設の有効活用・利用促進
- ④ 総合型地域スポーツクラブにおける企業・大学等との連携・協働の推進

(4) 競技スポーツの推進

オリンピックをはじめとする国際大会や全国大会における本県選手の活躍は、多くの県民に夢と感動を与えるとともに、青少年のスポーツに対する興味や意欲を高め、活力ある社会の形成に大きく寄与しています。

本県では、平成24年度から、ジュニア期からの一貫指導体制の構築を目的として、ジュニア選手の発掘・育成に向けた本県独自の事業を実施し、その効果を検証してきました。その結果、優れた素質を有するジュニア選手を早期に発掘し、一貫した指導理念に基づいてトップアスリートへと育成するシステムの充実が重要であり、個人の

特性等に応じた最適な指導を受けることができるような仕組みづくりが求められています。

さらに、2025年第80回国民スポーツ大会の本県開催を見据え、青森県競技力向上対策本部が策定した「青森県競技力向上基本計画」に基づき、中・長期的なプランを立て、スポーツ医・科学を活用したアスリートの育成・強化を図るほか、スポーツ関係者及び団体等のガバナンスの強化やドーピングの防止活動に取り組むことが必要です。

また、競技力向上やスポーツを通じた地域活性化に向け、本県にゆかりのあるオリンピックやトップアスリート等で組織する「あおもリアスリートネットワーク」との連携も期待されます。

- ① 国際大会や全国大会で活躍できるジュニア選手の発掘・育成・強化
- ② スポーツ医・科学を活用した競技力向上支援体制の整備及び指導者の育成
- ③ クリーンでフェアなスポーツの推進
- ④ あおもリアスリートネットワークの協力による強化支援体制の整備

(5) スポーツによる地域の活性化

2019年にラグビーワールドカップ、2020年には東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定し、日本人選手の活躍に対する国民の期待が膨らんでいます。

現在、本県では、東京オリンピック・パラリンピック組織委員会をはじめとする関係団体や市町村と連携を図りながら、東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う事前合宿の誘致に向けた取組や2025年の第80回国民スポーツ大会の本県開催に向けた準備を進めています。

大規模スポーツ大会の開催や集客力のあるスポーツイベントの誘致は、県外からの参加者に対して本県の魅力をアピールできる絶好の機会であり、地域の活性化につながるものです。

また、大規模スポーツ大会や集客力のあるスポーツイベントの開催は、交流人口の拡大にもつながり、地域文化創出や地域の一体感の醸成等においても地域社会に与える影響は大きいことから、スポーツによる交流人口の拡大に向けた環境の整備やスポーツボランティアの育成が重要となります。

さらに、スポーツによる地域の活性化を促進するためには、インターネットやマスメディア等によるスポーツ情報の発信も重要となっています。

- ① スポーツイベント等の開催
- ② スポーツによる地域活性化を支える人財の育成
- ③ スポーツ活動推進のための情報発信